

一只石村館東西三十八間南北四十三間天正度伊南源  
助住

一山口村柵東西四十間南北廿九間神庭右京住

一宮床村柵東西三十間南北廿三間文安ノ頃木村肥前  
守秀信築天正之頃馬場備中居

一片貝村柵東西廿間南北十九間築人不知天正ノ頃堀  
金彈正住

一下山村柵東西三十八間南北廿三間天正度目黑小十  
郎住

一梁取村館東西六十二間南北五十八間應長之頃三河

權守守景築其後山内氏領城代ニ佐藤左馬助信虎ヲ  
置名窪城子孫山ノ内ヲ家名トス

一小林村柵東西廿五間南北廿間文龜二年壬戌築天正  
之頃中丸三郎左衛門居

一和泉田村河原崎城東西五十九間南北十八間建長二  
年庚戌河原田氏築天正之頃五十嵐伯耆守道照住

一大倉村柵東西十九間南北廿六間天正之頃木村數馬  
住前中丸新九郎築

一橋戸村柵東西不詳南北廿間天文ノ比横山光氏住

一布澤村ノ内久澤柵東西廿貳間南北廿間永正十二年



乙亥佐藤彈正築居

一布澤村館東西六十三間南北四十五間築人不知天正  
ノ比渡部長門住

一泥島村柵東西廿間南北廿貳間天正年中齋藤九太郎  
住

一熊倉村柵東西三十間南北十八間永祿之頃目黑七十  
郎居

一荒井村柵間數不詳天正之比荒井舍人居橫山氏

一石伏村柵東西廿六間南北三十間正治元年己未齋藤  
岩見築永祿之頃小國監物居

一田子倉村柵東西廿五間南北貳十間天正ノ比皆川近

江居

一只見村水窪柵東西六十壹間南北百貳間建保元年己  
酉橫田氏築天正頃小國九郎左衛門居

一小川村館東西三十八間南北廿九間天文七年戊戌山  
內攝津守俊政築天正頃渡部備中守居

一十島村柵東西廿三間南北廿間築人不知弘治ノ比長  
谷川四郎左衛門居

一蒲生村柵東西三十三間南北廿三間元龜元年庚午鈴  
木帶刀住



一上馬渡村柵東西十八間南北十四間山ノ中ニアリ高六十五間麓廻リ十五町有弘安年中山口三郎重義築或曰文曆年中築ト云未詳天正之頃鵜浦甲斐光房入道聖親居

一原村館東西廿九間南北三十四間弘安年中原小次郎家光築居

一中田村鵜浦館東西三十貳間南北四十壹間大永三年癸未赤井因幡政道若名五郎左衛門築住此村昔日中村天正之頃平田大炊介居

一同村小山館東西三十貳間南北三十四間村之東北之

山ニ有天文ノ頃小田切彈正住

一東田面村柵東西廿三間南北廿八間明應元年庚午赤塚源八定光築住

一崎川村柵東西廿五間南北廿八間弘治頃齋藤二郎盛義住

新編風土記并耘暇鈔

一白絲瀧 瀧澤村ノ東九町廿間山中ニアリ高八丈餘此奥十町許ヲ隔テ二瀧三瀧トテ貳ツアリ共ニ高サ三文許

一石部櫻 瀧澤村ノ北三町廿間ニアリ昔石部某カ園



中ノ樹ナリト云根ノ周リ三丈餘數株トナリテ四面ニ蟠レリ高三丈餘枝葉庇フ所甘間計寛文中ノ風土記ニモ載ラレタリ實ニモ五百年外ノ老樹ニテ色香モ他木ニスグレ花ノ時ニハ樹下ニ群集シ春ヲ賞スルモノ多カ中ニ枝情ナク折取杯スルコトアルヨシ  
 恭定公聞召テ天明六年十月十七日傍ニ柵ノ木ヲ立ヘキ旨命セラレ又府下屋敷町ニ木匠某トテ聾タル老翁ノアリシカ春毎ニ樹下ニ來テ花守トナリ妄ニ枝條ヲ折取ルコトヲ禁セシトゾ  
 盛至屢花ヲ觀ル碑ヲ寫セシ故左ニ識ス因ニ云新

編風土記ハ享和ノ度ヨリ着手文化四五年ニ至リ  
 集成畢リタリ故小補スルノミ也

石部櫻のうたとして人のこひければ

正三位有功

うゑおきし人の心の花櫻

にほへちとせも苔むさすして

石部某の古宅のさくらを 春海

野とかりしのちもかたみと春とに

咲や昔の庭さくら花

一 太夫櫻 牛墓村ノ辰巳ノ方三町餘飯盛山ノ麓ニア



リ寛永中何某トイフ妓女花ノ爲ニ出テ人ニ殺サレ  
シ墓印ナリト云 盛至赤羽松陽翁ニ聞シニ堀江町  
ニイツキ太夫ト云妓アリ天駒又兵衛惡魔三九郎ト  
云惡徒ノ爲ニ殺サレタリ然ルニ太夫弟南秀ト云ル  
法師懺ヲ報イタリトゾ文化十年春木隱翁面影碑立  
テアリ僅ニ七十年ハカリナレトモ苔ムシ風雨ニサ  
レテ讀カタキ所々アリ又假名ノ違ヘシアラハ後ノ  
人訂正ヲ希フニナン面影碑篆字省ク「いつきは會津  
大會津郡黒川のさと堀江てふちまたにすみしく、  
つにてそたち心はへはさら也物よみ物かくわさよ

り糸竹のまらべまで世の聞え類あかりしう寛永三  
とせといふ年やよひはうりさうあきますらをの刃  
にかくりてはかあくありにけるを同し里の東飯盛  
山のふもとに葬りおくつきの印に櫻一もどを植て  
太夫櫻とよへるよし先に里人のたてし碑に志るせ  
ればこちたくしもいはすさて太夫う弟南秀といへ  
る法師そのうあしひに堪す師に暇こひてあたむく  
いしいさはしはた類あしとて其頃はらからの姿を  
繪にうつして物におし今やうに作りて唄ひあどせ  
しかは一時こそは其名ひろこりたれと年月ふるま



ゝにあたしつくりことのことといひあす事にはあり  
にたりまかありしにことしきさらきはかり太夫か  
すみけんあたり思案橋とか聞えし石はしのいたく  
傾きて苔むしたるを野村某の庭にものせんとて人  
して引起したるに所々文字のことき物ありいか  
る字のあとにかと水そゝかせてよむに太夫か七と  
せのわさ營みける折にそかし菩提のため建るとこ  
ろにして年月法名はたいける折の名おさへつはら  
かにゑれり是そかのつたへのいつはりあらざるま  
るしにこそばとこたひ清風堂の某ら切この石をこ

ひもとめてありし櫻のもとに移しすゑつ是を見か  
れを思はゝその代其人柄をさへ志のふるよすかあ  
らんかしといさゝか其よしまるしかくにかむ

かたりつきいひつく花の面影と

たえすいく代の春にははば舞

文化十年癸の酉彌生廿日

あひつねの國人とかくれの翁しるす

- 一 舛瀧 原村ノ南一里十九町端村田代ノ辰巳ノ方一
- 里三十町計原川ノ上流ニアリ高十丈計
- 一波瀧 田代ノ辰巳一里計ニアリ高十五丈斷崖ヨリ



潟ク

一古碑 原村ノ丑寅ノ方九町餘崎川村ニ行道ニアリ  
 德治三戌申ノ數字ホノカニ見ユ又是ヨリ貳町餘北  
 ニ二基アリ極メテ古代ノ物ト見ユレトモ文字辨シ  
 カタシ

一古碑 上馬渡村中ニアリ觀應元年庚戌七月日ト彫  
 付アリ

一赤井谷地 赤井村ノ北十貳町ニアリ東西一里二町  
 南北三十町計多蘆荻ヲ生ス

一材木岩 篠山村ノ北湖水ニ臨メル岩山ナリ高百廿

間餘八九寸角ヨリ二尺角計ノ石柱相累レリ各長サ  
 三間計リ橋トスルニ尤モヨシ又中田村ノ東九町ニ  
 アリ共ニ云傳フ石理麓ク折リテ用ニ堪ユ磐梯明神  
 一夜ニ湖上ニ石橋ヲ架セントセシカ夜明シヨリ棄  
 置レシ所也

盛至日往昔役小角大和國葛城山ヨリ大峯エ石橋  
 ナ架スルユトナ葛城ニ座一言主神ニ命ス此神ハ  
 シモ醜容ナレハ晝ヲ厭フテ夜ノミ事ヲ爲故ニ果  
 サス明ルワヒシキ葛城農神ト云古歌モアリ岩椅  
 神湖上石橋ヲ架スニ夜明ケタレハ棄置レシトイ



フモ同日ノ怪説信スヘカラス

一 鐵砂 崎川村湖濱ニ多シ兵器農器ヲ製スルニヨシト云

一 赤崎 東田面村ノ東十六町湖濱ニアリ數町ノ出崎ニテ皆丹崖ナリ松樹多ク紫藤其間ニ蔓延シテ稍佳觀也北ノ半腹ニ洞アリ四間ニ一間計

一 烏崎 湖水ノ涯ニアリ空海カ畫キシトテ岩畔ニ鳥ノ形見ユ水ヲソ、ケハ益鮮明也

盛至日少シ異リタルアレハ空海ノ業トスルハ里俗ノ誣言笑フニ堪ユ余明治壬午七月既望湖上ノ

月ヲ賞セントテ福良村武藤戸長齋藤用係及武藤菱洲齋藤鴈洲其他四五ノ諸子ト共ニ船ヲ泛ヘシ時烏崎ヲ觀ル水ヲソ、ケトモ鮮明ナラスサレトモ天然ノモノト見ユ世ノ説又空海ノ空ニ皈ス信ヲ置コトナカレ

一 古碑 田面村ノ西ニアリ正應二年十月十四日彫付アリ

一 帽子沼 府城西廿町柳原町ノ未申ノ方一町ニアリ皆鶴帽子ヲ投ケシ所ト云

一 窓梅 府城西北廿町餘中明村肝煎大島忠左衛門カ



家ニアリ文龜二年或ハ明應ノ頃トモイフ兼裁此ニ來リ大島殿  
ト云コトヲカクシテ春來レハ喜多シマトノ梅ト  
云發句ヲ詠シテ與フト云今ハ失フ花時來賞スルモ  
ノ多シ

一灰塚 府城西一里廿一町田村山村丑寅ノ方二町三  
十間ニアリ高六尺周廿間餘其東三十間餘ニ糠塚ト  
云アリ高九尺周三十間餘東西相並フ天明中灰塚ヨ  
リ管ノ如クナル青石數枚ト破鏡一片ヲ堀出ス青石  
ハ美須麻流珠ナルヘシト云

一葦名修理太夫盛氏墓 小田村ノ東三町餘ニアリ上

ニ五輪アリ天正八年六月十七日没ス行年六十歳法  
名瑞雲院竹岩宗關太庵主

一芦名三浦介盛隆墓 盛氏ノ墓ノ西ニアリ五輪アリ  
天正十二年十月六日大庭三左衛門ニ弑セラル行年  
廿四歳法名瑞泉院蘭室永賀大居士又此西ニ二ツノ  
墓アリ盛興及龜王丸ノ墓ノ由云傳レ共詳ナラス  
一葦名左近將監盛信墓 天寧村ノ東愛宕神社ノ未申  
ノ方ニアリ寶徳三年三月十八日四十四歳ニテ卒ス  
法名寶巖寺殿元慶喜公大禪定門位牌ハ天寧寺ニ安  
ス盛氏牌子モアリ



一 關川橋 府城南三里五町關川村ノ南九町ニアリ關川ニ架ス高キコト九間昔聖德太子百濟班人路子麻呂ヲシテ諸國ニ百八十橋ヲ作ラシメラレシ其一ナリト云傳フ

一 古梅樹 府城南一里廿二町面川村ノ辰巳ノ方九町五十間餘端村根岸ノ辰巳ノ方鹿鳥神社ノ前ニアリ幹ニ花ヲ開ク故ニ幹ノ梅ト云

一 御山 府城南一里十三町餘御山村ノ辰巳ノ方十町許ニアリ石峯イシノボ羽黑樹山ウラジロノ三名アリ昔ハ石峯特ニ高カリシトゾ蝦夷四面ニ穴ヲ掘大石ヲ累テ楯籠リテ

官軍ヲ拒コトキシニ地中ヨリ猛火モエ出山崩盡ク燒死セリト云俗ニ義家朝臣蝦夷ヲ伐レシ時ノコトト云トモ崇神天皇ノ朝大毗古命ハ高志國ヨリ其子武渟タケノ川別命ハ東方ヨリ此ニ來リ蝦夷ヲ治ラレシ時ナルモシルヘカラス此邊義家ノ舊跡ト云傳フル所多今山中ヨリ鐵器土器ノ缺損シタルヲ得ルコトアリト云又燒崩レシ石ナリトテ山下五町計ニ赤色ノ巨石散布セリ村ノ南貳町ニ蝦夷塚アリ高二尺餘周三間計燒死セシ蝦夷人ヲ埋メシト云○子持岩ヨリ子持石ヲ産ス



一冬坂峠 府城ノ東廿六町院内村ノ東ニアリモトハ  
背灸セカイト云白河海道加藤氏ノ時屢火災アリシニヨリ  
今ノ名ニ改ムト云豊臣公下向時此ニ茶屋ヲ設テ憩イ  
ハレシト云

盛至日冬坂峠ヲ廢シ瀧澤峠ヲ開キシハ寛永四年  
丁卯加藤喜明ノ時代也二百五十餘年ノ後明治十  
三四年ノ頃舊瀧澤村東ヨリ右ノ澤エ入羊腸ト山  
ノ半腹ヲ登リ峯ヲ越金堀村ノ南ヲ經テ沓掛ニ至  
ル車道開鑿セリ然レモ未タ快シトセサルニヤ明  
治廿年ノ春ヨリ又工事ヲ起シ瀧澤村ヨリ左折山

腰ヲ斜ニ繞リ石森山ヲ經テ金堀村ノ東端ニカ、  
リ又左折山腹ヲ傳ヘ追々登リ強清水村ノ東端ニ  
至リ舊道ニ合スルノ車道ヲ開ク三道共ニ各隨意  
ニ往來ス此道タル高低ヲヒキナラシテ如斯ナリ  
シナレハ三味線路ト呼ヒテ可ナルニ似タリ偕明  
治初度湯入海道修繕セリ是ヲモ加ヘテ四線ノ往  
還琵琶海道トナリタリ開ケ行世ノ形勢豈唯道而已  
ナランヤ

因日明治十四年會津北方米澤ヨリ入田付越喜多  
方町鹽川若松ヲ經テ南山川路通り田鳥ヲ經山王



嶺ヨリ七八里間大山ヲ新ニ開キ下野國鹽谷郡鹽原ニ至ル又若松ヨリ坂下氣多宮ニテ束松通りノ舊道ヲ廢シ柳津道ニ入只見川ニ橋ヲ架シ藤村ヨリ山路新ニ開降リテ舊道ニ合野澤上野尻ヨリ又群岡車峠ノ舊道ニ依ラス阿賀川ニ沿瀧内通り德澤上ヨリ六山ヲ越テ寶坂ノ地内ニテ舊道ニ合越後國ニ入津川町ヨリ阿賀川ニ沿大牧山戸本尊岩崖下ヲ廿二三間堀貫キ是ハ萬世ノ益ナリ小石取村ヨリ阿賀川ヲ離レ保田龜田通り新潟ニ抵ルノ三道大工事以來近年坂下ヨリ若松ノ間福原ヲ經

横沼ニテ本道ニ合シ又南山道兩屋地内ヨリ一堰德久通り材木町道又高田ヨリ飯寺ニ至ル道又大町尻ヨリ島金川ニ至ル又坂下ヨリ喜多方ノ間鎧召通り大木通りノ二條ノ新道開キタリ里數ニ少々ノ延縮ハアランモ田畠ノ倒地不容易而已ナラス工事ノ費莫太也互ニ競フテ己カ利ヲ量リ讓リアフノ義ヲ忘ル、ニ似タリ蟻ノ道ヲ讓ルヲ可顧世ノ人ヲシテ岐ニ泣ノ感ヲ起サシムルナカレ

一忍草 紋石湯本道伏見瀧ノ邊ニアリ

一抱石 湯本村東一町四十間箕輪山ト云アリ其東ニ



木賊澤ト云澤アリ其東南ノ山ニ峯アリ此ヲ抱石ト云田螺石ヲ産ス經二三寸ノ物アリ中ハ玲瓏トシテ少シク曇アリ磨テ玉トナシ愛翫スヘシ偶中ニ水ヲ貯ルモノアリ五六十年前握り飯ノ大サナルモノヲ多ク市ニ持出シ鬻<sup>ヒサ</sup>キシトゾ

一 神代石 大ナルモノ瀧澤町大橋守之家ニ藏ム

一 伏見瀧 湯本村ノ戌亥ノ方三町廿間黒川ニアリ瀧

二 ツアリ上ヲ雄下ヲ雌ト云共ニ高一丈餘

一 雨降瀧 湯本村ノ辰巳ノ方七町三十間黒川ニアリ飛泉數級トナリテ瀉ク高七尺餘

一 屏風岩 川溪村ノ亥ノ方十五町石壁數十丈老松爭ヒ生シ奇觀ナリ

一 猿瀧 黒川ニアリ高五丈計土人山伏修行瀧ト稱ス

一 地獄穴 湯原村ノ南五町山腰ニアリ入口ノ濶<sup>ヒロ</sup>サ一間計入ニ隨テ漸ク狭ク下ル火ヲ得サレバ行コト能ハズ試ニ小石ヲ投スレハ其響暫絶ス早朝ニ烟氣ノ昇ルコトアリ

一 温泉 湯原村ノ東北貳町計大川ノ岸ヨリ出切湯ト云温瘡ヲ治ス又村北貳町餘大川ノ西岸ニアリ猿湯ト云疝氣痰飲積蟲ヲ治ス又端村館本ノ西大川ノ渚



ニアリ砂ヲ決リテ浴ス金瘡温瘡ヲ治ス共ニ冷湯ニ  
ノ味淡シ

一温泉 蘆牧村ノ北八町計鶴沼川ノ岸岩間ヨリ出冷  
湯ニテ脚氣眼疾ヲ治ス

一塔崩<sup>ツツ</sup> 府城南八里白岩村ノ南一町餘大川ノ岸ニ傍  
テ山麓ヲ傳ヘ水門村ニ通ル路ニアリ巨巖往々疊起  
シ高キ者ハ十五六丈卑者十二三丈狀九層塔ノ如シ  
其下絶壁ニ躑躅紫藤多シ亦佳觀也鷲塔岩東崖ニア  
リ鷲塔岩其北ニアリ獅子塔岩其北ニアリ樓塔岩其  
北ニアリ九輪塔岩其北ニアリ屋形塔岩其北ニアリ

象塔岩其北ニアリ牛岩東崖一大岩下ニアリ東西七  
間南北十間ソウハ洞ノ方言ナリ護摩堂岩其北ニア  
リ舞臺岩東崖ニアリ烏帽子石護摩堂岩ノ北ニアリ  
鰐口岩西崖ニアリ阴阳石西渚ニアリ夫婦石東渚ニ  
アリ

一硯石 上添村ノ西一里計出戸崩山ヨリ出ツ溪間ヨ  
リ堀出スモノヲ佳トス

一石柱 戸石村戌ノ方十五町計嶽腰山ニ産ス五六寸  
角ニテ長一間ヨリ貳間計アリ橋ニ宜シ篠山石ノ類  
ナリ



一 鳴山城趾本丸東西四十五間南北七十二間二ノ丸東西五十間南北八十間會津古壘記ニアリ田島村ノ南山麓ニアリ鎌倉右大將ノトキ長沼悪五郎家政結城長沼ヨリ來住シ子孫代々住居セシト云長祿ノ頃政明ト云者アリ長帳ニテ合戦ノコトアリ大永ノ頃盛秀ト云者アリ長帳ニテ永正十八年此城ヨリ黒川ヲ攻メトテ槍玉峠ニテ不殘討死セシヨシ見ユ又絲澤村龍福寺永祿元年ノ文書盛勝ノ名アリ邑德寺ニ長沼盛秀ノ墓天正十八年三月二日施主敬白ト彫付アリ蒲生氏ノ時北川平左衛門ヲ置上杉氏ヨリ小國但馬ヲ置蒲生氏再封ノ後ハ蒲生主計居レリト云邑ノ愛

宍社ニ田島城主主計助敬白慶長十八年五月吉日トアル鰐口アリ

一 陣場 絲澤村南一里餘下野街道ノ東山腰ニ出戸陣場入陣場トテ丘ノ如キ所アリ長帳ニ明應四年十一月十九日松本備前伊藤殿不思議ノコトアリテ宇都宮殿ヲ賴落行處ニ南山殿絲澤ニテ追カケ討死人數三十三人トアルハ此處ニヤ

一 山王峠 府城南十二里廿八町餘絲澤村ノ南二里餘下野街道ニアリ陸奥下野塚ナリ登ルコト八町餘道盤曲左右千尋ノ谷ニ臨ミ或ハ岩ヲ鑿リ或ハ棧ヲ架



シテ路ヲ通ス

一大瀧 瀧原村荒貝川ニアリ高一丈餘幅十二間不動瀧トモ云

一龍神瀧 同村ヨリ一里餘荒貝川ニアリ高一丈五尺幅七間

一鱒瀧 大桃村伊南川ニアリ高一丈餘幅八間

一不動瀧 同村黒檜澤ニアリ上ハ高三丈計幅三間下

高四丈餘幅四間伊南川ニ注ク

一鰐口 府城南十一里餘下搥澤村カサ鰐神社ニアリ奥州長江莊田島郷二崎永亮□年壬子十一月廿一日白敬大

旦那猪俣憲頼ト彫付アリ永享四年壬子タルヘシ又福米澤村豊

民ノ家ニ奥州南山大鹿原村田中權現敬白明應三甲

子大旦那頼家ト彫付アル小キ鰐口アリ此村昔ハ大鹿原村寛永

八年ニ又同村常樂院ニ永□□二月十七日ト彫付

アル鰐口モアリ

一鰐口 熨斗戸村鹿島神社明應七年三月廿四日梅宮

鰐口大旦那七郎兵衛ト彫付アリ

一立岩 森戸村ノ西一町ニアリ高十五丈周十八丈許

屏風ヲタテタルカ如シ多ク岩茸ヲ産ス取レハ雨降

ルト云此組廿四ヶ村ヲ立岩郷ト稱ス



一古碑 村北一町廿間ニアリ貞和五年三月日ト彫付アリ

一鰐口 同村民家ニアリ奥州南山立岩圓福寺虚空藏堂ノ鰐口也于時應永十一年甲申五月十三日大旦那唯善房并諸旦那施主各人敬白ト彫付アリ 此寺今ハ無

一温泉 湯岐村ニアリ岩間ヨリ遊り出腫物中風脚氣瘡毒切疵打身上氣等ヲ治ス冷湯ニシテ白湯ノ如シ  
一板札 湯入村日光社ニアリ大永六年五月廿四日長沼盛秀寄進狀也

一銅鉢 鹽原村泉光寺ニアリ經八寸康永二癸未年五

日泉光寺ト彫付アリ

一温泉 木賊村南三町西根川ノ西岸ニアリ癬瘡ヲ治ス

因日伊南郷宮澤村川原田久彌老人ヨリ木賊村ニ星川皇子墳ト唱フルアリ隨從セシ臣等ノ子孫モアリ然ルニ何帝ノ皇子ナリヤトノ質問アリ大日本史皇子列傳ニ據ニ雄略三皇子妃葛城韓媛生清寧帝吉備稚媛生磐城皇子星川稚宮皇子日本紀磐城皇子帝二十三年與弟星川焚死日本紀星川皇子不軌ヲ謀ル兄磐城皇子諫レトモ不從大藏鎖閉擅用官



物室屋等發軍圍大藏縱火磬城星川及從之者焚死  
トアリ伏而按フニ如斯深山僻地ニ於ル皇子ノ名  
ヲ識ルニ由無然ルニ遠ク唱ヒ來ルナレハ密ニ其  
場ヲ遁レ跡ヲ晦マシ潛匿セラレシモノナラン歟  
モ知ルヘカラス

一星川皇子古墳 赤羽松陽撰吾郷南山木賊村有古墳  
村民相傳爲星川皇子墳然不知星川皇子爲何人村人  
川原田某柬高陽山人質其事山人剽取大日本史一條  
以對之山人訪余草堂語次及之余以爲星川皇子載見  
大日本史則村民所傳星川皇子果其人歟山川悠遠古

今縣邈若存亡在今日存亡眞僞不可的知吾會津在萬  
峯中深阻幽僻趙北際燕南垂可以避世ツク可以カク身後世  
如高倉親王貴跡在北越中山文献班々可考而信也然  
則皇子赤曾逃死於會津乎暇日攬筆具錄以示好事者  
如大日本史文附識于左文略ス

一久川城跡 伊南郷青柳村ノ南四町ニアリ天正中河  
原田治部少輔盛次伊達氏ノ兵ヲ防カントテ此ニ據  
テ防守ルトゾ蒲生氏ノ時蒲生忠左衛門居ルト云  
一岩穴 大原村ノ西廿町餘ニアリ横穴ト云口ノ經九  
尺餘下ルコト貳拾六丈ニシテ拾疊敷計ノ平也其中



ニ六尺四方形ノ池アリ深サ測ルヘカラス入口ノ前  
ニ小岩アリ面平ラニシテ案ノ如ク形状甚奇也其北  
七町計竪穴アリ口ノ經七尺餘深サ測ルヘカラス早  
年ニ雨ヲ祈ル所ナリ

一唐倉山 木仗村辰己ノ方三拾一町餘ニ在リ峯傳ニ  
小路ヲ通ス登ルコト八町餘ニ鑑岩裸岩アリ其上登  
ルコト一町餘ニ石柱ト稱スル岩アリ方四尺計長五  
六間計ノ石三拾餘アリ此ヨリ上ニ烏帽子屏風手掛  
衣掛ノ怪岩列峙ス衣掛ヨリ一町餘頂上ニ明神岩ア  
リ左右ニ數拾ノ怪石一町計ノ間ニ布置シ累々相仍

レリ南ヲ日光岩北ヲ月光岩ト稱ス北ハ飯豐磐梯南  
ニ燧嶽駒嶽ヲ望ミ眺望廣シ

一小瀬沼 檜枝岐村ノ南四里餘ニアリ東西一里拾二  
町南北拾八町半ヲ限リ上野國利根郡ノ支配ナリ葦  
菜多ク鱒岩魚ヲ産ス四方ニ山ヲ擁シ水面鏡ノ如ク  
大岩其中ニ屹立シ鷓鴣多ク集ル幽邃ノ勝地ナリ檜  
枝岐村ヨリ戸倉村<sub>利根郡</sub>行程八里計山谷ノ間人家ナ  
シ此邊ニテ牛ト舟ト云コトヲ忌ムト云傳フ漁スル  
ニモ筏ヲ用ユ舟ヲ用ヒス只見川ノ水源也又小瀬平  
アリ東西三里計南北二里計土人ノ説ニ以仁王供奉



セシ小瀬大納言頼國ト云人住セシ地ナリト云水田ノ形殘レル所アリト云小瀬沼ノ北岸ニ小瀬殿的場ノ跡ト云所アリ

一不動瀧 檜枝岐村ノ申酉ノ方六里只見川ノ上流ニアリ懸崖ヨリ直ニ瀉クコト廿丈餘三條瀧トモ云

一棟札 界村ノ端村蛇宮鹿島社ニ有リ天養元年甲子十一月吉祥日

一馬尾瀧 伊北郷鹽澤村鹽澤川ニアリ高廿丈幅二間流末只見川ニ入

一鹽井 伊北郷鹽澤村鹽澤川ノ東岸岩穴ノ間ニアリ

周六尺餘鹽味輕ク色白シ

一銅山 伊北郷蒲生村赤岩ニアリ

盛至高倉宮御潛行調ヲ左ニ識ス

一宮清水 森戸村ノ山ノ根ニアリ高倉宮潛行ノ時召上ラセラレシヨリ其名遺レリ

一竹杖原 八總村東拾町餘ニアリ是モ高倉宮ノ古跡ナリ

一御所橋 瀧原村地内溪谷兩傍岩石峙チタル大難所アリ其邊ニ樵者四五人削リ居タル材木へ宮腰ヲ掛ケサセラレ暫時休息シタマウ心無キ賤ノ男ト雖モ



流石ニ高貴ノ御方嶮路ニ億ツツレタマフナイタハシク  
惻隱ソクインノ情ヲ起シ材木ヲ橋ニ架其上ヲ渡シ奉リシヨ  
リ此處ヲ御所橋ト云

一高倉神社

北境三十間免除地

大内村西一町餘ニアリ

祭神高倉宮以仁王高倉宮御傳記ニ據ニ治承度宮御  
潜行高嶺峠ニ掛リ玉フニ柳津住石川冠者有光押寄  
タリ其時防キ玉フニ俄ニ大風雨雷鳴火ノ玉ヲ降シ  
石ヲ吹付ケレハ石川勢恐レテ敗走ス宮ニモ山本村  
ヘ戻リ暫時滯留シ玉フテ針生ノ方ヘ赴キ玉フ故ニ  
大内ト村名ヲ改メ御德ヲ慕ヒ鎮守ト崇祭ス又高嶺

峠トカミヲ火玉峠ト唱フ氷玉トモ書ス

一櫻木姬墓

大内村四五町東字御側原ニアリ 以仁

王后紅梅御前ト共ニ追ヒ來リ病死ス墓ノ印ニ櫻木

一株栽テアリ櫻木姫ハ乙部右衛門佐重賴妻ナリト

云

一御前社

戸石村四五町ニアリ以仁王后ニシテ慕ヒ

來リテ病死ス故ニ墓上ニ祠ヲ建テ鎮守ト祭ル

一高倉神社

榮富村ノ内舊水抜村ニアリ高倉山ト云

巍然タル峻山ノ腰小巒ニ社アリ又社ニ詣ル路ノ傍  
畑ノ中ニ衣装塚トテ小石累々重子タルアリ村老ノ



說ニ新シキ御衣ヲ上ケ奉リテ古キ御衣ヲ降シ玉フ  
ヲ埋メタル也ト云

一高倉神社 榮富村ノ内舊菽原村ニアリ宮御潛行ノ  
時假ノ御寓所ニナリシ字大屋ト云處昔渡部丹後ト  
云者ノ屋敷地ナル故ニ御德ヲ慕ヒ丹後ト云者主立  
村中協議ノ上元祿十五年壬午社ヲ建祭ト云

一唱崎古戰場 伊北郷長濱村五六町西ニアリ 長塚  
幅一丈餘長十二間餘高三尺餘 小塚 幅九尺弱長二尺餘 石川塚 方一尺餘但  
海道ヲ隔長塚ト相對ス其間五間弱 新編風土記ニ  
長濱村ノ古戰場村ノ西六町ニアリ唱崎ト云傳フ高

倉宮渡部丁七唱等ヲ從テ此所ニ沈落シ玉フ時ニ河  
沼郡柳津村ニ住セシ石河冠者有光ト云者襲來リシ  
カ唱此時清水淡路某ト云者ヲ怙ミ宮ヲ樞戶村ニ落  
シ奉リ其マ、淡路ト共ニ黒谷川ヲ後ニ當テ防戦ヒ  
シカハ石河終ニ此所ニテ討レ軍兵モ多ク討死セシ  
トゾ因テ屍ヲ一處ニ埋メシ所ナリト今猶兵器ノ朽  
折タルヲ得ルコトアリト云

一古筆三社託宣 片貝村中丸善三郎所藏宮ノ御筆ト  
云フ 幅八尺一寸五分 三社託トテ民間ニ尊崇スルモノハ  
往古何人ノ作ナルヲ知ラス其書ノ眞偽ハ愚眼ノ及



處ニ不有ト雖モ揮符驚神鬼活筆走龍蛇ノ勢アリ  
 一釜一ツ 楢戸村瀧王院ト云修験ナリシカ今ハ復飾  
 シテ山崎苗元ト云昔瀧王院ハ宮ノ宿リ玉フ所ニシ  
 テ頗ル忠ヲ盡セシトゾ宮ヨリ品々下サレケル内今  
 茶釜所持セリ又無名短刀一口アリ 又長濱村吉津  
 平七茶碗宮ヨリ賜フ所ナリトテ所持セリ叶津村長  
 谷部保三郎家ニ宮ヨリ拜領セシトテ陶器輝燒ニシ  
 テ中ニ梅ニ根笹ノ燒付アリ收藏セリ宮ニハ叶津ヨ  
 リ八十里越ヲ踰越後國ニ赴キ玉フ近郷ノ者先導  
 護送奉リシトゾ山ノ内諸處ニ宿リ玉フ項ニ至リ越

後地ニ御所山御所平御所清水又石窟アリ亦御潛行  
 宿リ玉フ家諸所ニ繁榮シテアリ宮ノ由緒ニ依リ各  
 稱ヲ改メタリト云村五ヶ村アリ且人口ニ膾炙スル  
 所宮ノ御詠ナリトテ

富士ヲ見ヌ人ニ見セハヤ陸奥ノ朝草山ノ雪ノ曙  
 新編風土記ニ伊北第一ノ高山ニテ四時雪ヲ戴キ遠  
 望スレハ奇觀也西ハ越後ニ屬ス田子倉村ヨリ南ノ  
 腰ヲ越テ魚沼郡大白川新田ニ出ルヲ六十里越ト云  
 叶津村ヨリ北ノ腰ヲ越蒲原郡蘆平村平ト書ニ出ル  
 ヲ八十里越ト云



- 一西郷頼母所藏七通
- 一原田伊豫同廿六通
- 一一柳新三郎同四通
- 一加須屋左近同拾七通
- 一梁瀬源次郎同十六通
- 一丸山右次馬同九通
- 一浮洲次郎左衛門同十通
- 一龍造寺舍人同三通
- 一神尾才八同四通
- 一神保内藏助所藏二通
- 一原田又助同六通
- 一廣川力四郎同五通
- 一小森與兵衛同六通
- 一大竹孫右衛門同一通
- 一山内瀧口同六通
- 一坂本學兵衛同二通
- 一竹本登同五通
- 一黑河内織左衛門同一通

- 一松澤喜右衛門同十七通
- 一堀源之助同十通
- 一小山田多門同四通
- 一福王寺辰四郎同卅七通
- 一永野主典同四通
- 一堀内作右衛門同一通
- 一松本與太夫同四通
- 一糺木勘左衛門同六通
- 一上島川兵衛同二通
- 一安惠熊次郎同二通
- 一神尾長藏同二通
- 一安積市之丞同十五通
- 一三坂五郎左衛門同廿四通
- 一黑河内重助同一通
- 一小田切三之丞同四通
- 一猪狩惣右衛門同十五通
- 一飯島大助同一通
- 一中村儀右衛門同二通
- 一浦野勝平同四十一通
- 一福井舍人同二通



一河原町國分半兵衛同甘 一中荒井村郷頭小森與平  
九通 次同一通

一彌勒寺ニ補任牒并古文 一梁田仙右衛門ニ古文書  
書ヲ藏ム 多ク藏ム

一坂内孫右衛門カ家繪旨 一倉田藏之丞家ニ古文書  
ヲ藏ム 一通ヲ藏ム

一風間久兵衛カ家ニ蒲生 一鍛冶中條道辰家ニ宣旨  
家ヨリ與ヘシ文書有リ ヲ藏ム

一五郎兵衛 氏長谷川 世々錫ヲ商ヒシト見エ蒲生家ヨ  
リ與ヘシ板札二枚ヲ藏ム

一一乗寺ニ蜷川新左衛門書ヲ藏ム

一川副勘左衛門家ニ豊臣家ノ文書ヲ藏ム

一小池傳吉家ニ蘆名盛氏ノ文書一通藏ム

一原町國安太吉家ニ蒲生家ヨリ與エラレシ文書ヲ傳  
フ

一融通寺町星久右衛門家ニ蒲生家ノ文書寫有リ

一黒川堰 院内ノ南ニテ黒川ヲ引キ南青木組東西黒  
川高久組諸村ノ田地ニ漑キ凡七十六町餘ノ養水ト  
ナル

一門田堰 上兩屋村ノ西ニテ鶴沼川ヲ引キ南青水組



諸村及東西黒川ノ田地ニ漑キ凡二百三町餘ノ養水トナル

一思鑿堰 大沼郡本郷村ノ東ニテ鶴沼川ヲ引橋爪中荒井兩組諸村ノ田地ニ漑キ凡四百七十九町餘ノ養水トナル

一西田面村相傳フ義家朝臣東征ノ時此地泥深カリケレハ村民馬ノ口ニ取付キ恙ナク渡セシ故手繩村ト稱モシナ後訛轉シテ今ノ名トナルト又田連トモ書ケリ

一上馬渡村此村モ土人集リ義家朝臣ノ馬ヲ扶ケ泥濘

トヲ渡セシユエ村名トナルト云傳フ

一赤井村村ノ西北穴切坂ノ麓ニ井アリ其水赤キ故村名トス此村ノ肝煎小川安右衛門ト云者ノ家ニ文祿中ノ水帳ヲ藏ム標紙ニ左ノ書付有リ全文ハ煩ヲ恐テ略ス

文祿三年六月廿日鳥居助左衛門

奥州門田東十二村ノ内赤井村御檢地帳田方

一城安寺融通寺在幽靈掛幅一軸蒲生秀行乳母ノ像ナリト云其頃ハ此寺ニ住寺モナク覺夢ト云道心者住シケルカ彼乳母ユカリヤアリケン兼テ身後ノ事ヲ託



シオケリ然ルニ乳母讒ニ遇テ秀行ノ母堂ニ罪ヲ得  
及ニ懼テ死セシカハ遺言ニ任セテ此寺ニ葬リシニ  
妄執霽ひらサリシニヤ此女ノ幽靈晝夜トナク寺中ニ現  
ハレ因テ繪師ヲシテ圖セシメシト云今モ此畫ヲ見  
ルモノハ必妖アリトテ謾リニ見ルコトヲ許サス

一高久村モトハ村ヨリ丑ノ方六町ニ有リ慶長十八年  
今ノ地ニ移ス郷頭風間久次ト云者ノ家ニ文祿及慶  
長中ノ水帳ト免目錄ヲ藏ム

一横沼村村ヨリ戌亥ノ方ニ横沼ト云沼アルニヨリ名  
ツクト云昔ハ此村ヨリ寅ノ方二町甘間ニアリ何ノ  
頃ニカ水災ヲ患テ今ノ地ニ移ス

一神指村昔融大臣ニ仕ヘシ秦何某ト云者故アリテ此  
地ニ來リ住所ヲ定シコトヲ山王權現ニ祈リシニ一  
老翁夢中ニ現ハレ指示テ云此ヨリ北ノ林中ニ異香  
ノ樹アルヘシコレ村居ヲ開キ耕耘ヲ起スヘキ地ナ  
リト云終テ夢サメ又行テ見ルニ果シテ異香樹アリ  
ヨリテ田圃ヲ開キ一村ヲタツ故ニ初ハ香指村ト書  
シニ何ノ頃ヨリカ今ノ字ニ改ムト云傳フ正保三年  
三區ニ分ル

一如來堂村昔村南ニ阿彌陀堂アリ村名コレニ因トゾ



寛永十三年洪水ヲ患テ今ノ地ニ移スト云  
一 小見村村南二町十間壇アリ高九尺方四間  
一 鍛冶屋敷村康暦元年葦名直盛鎌倉ヨリ下向ノ時多  
クノ鍛冶ヲ伴ヒ來リ此所ニ居シム因テ名ツクト云  
一 東城戸村往古此邊ノ諸村ヲ天滿十二邑ト稱ス武藤  
某カ知行所ナリシ故俗ニ武藤村トモ云  
一 平澤村往古ハ村居ノ地高ク前ニ廣キ澤アリテ水湛  
ヘシ故廣澤村ト云又月ヲ賞スルニ佳ナリシ故月見  
ノ里トモ名ツケシトゾイツノ頃ヨリカ澤埋三平地  
トナリシニヨリ今ノ名ニ改ムト云

一 鶴沼村昔此邊ニ鶴沼ト云沼有リ村名是ニヨルト云  
一 下荒久田村壇村ヨリ五町計街道ノ左右ニ並ヒ其數  
七アリ因テ土人七ツ壇ト云高二尺計ヨリ七八尺周  
二間ヨリ十四五間計ニ至ル何ノ由來ヲ傳ヘス  
一 木流村此村橋本木流平塚木流西木流トテ三區ニ住  
ス相傳フ昔藤倉村ニ二階堂ヲ建立セシ材木ノ餘レ  
ルヲ川ニ流シ來リ此村ニ觀音堂ヲ造立ス故ニ村名  
トシツノ川モ大工川ト名ツケシトゾ  
一 中荒井村壇四ツ村ヨリ辰ノ方五町ニ有リ高一丈計  
周四十間計東西ニ並ヘリ四壇ト稱ス慶長ノ頃逆修



念佛ノ爲ニ築キシト云

一 今和泉村昔此村ニ酒ヲ釀スルニ宜キ清水涌出シニ

近村ニ泉村有故今泉村ト名ツケシト云後文字ヲ改

ム清水村ヨリ四町戌ノ方ニアリ廣六間計リ

一 十二所新田村ハ寛永中開ク所ノ新田ニテ其地ニモ

ト十二所權現ノ社アリシ故名ツケシト云

一 宮下村天文ノ頃マテ下荒田村ト云後今ノ名ニ改メ

シト云フ

一 下荒井村清水小名寶壽ノ南ニアリ東西一町五十間

餘南北九間白山清水ト云小魚多シ

蓮華寺 境内千三百六十二歩免除地 村中ニ有リ松命山ト號ス山城國

醍醐報恩院ノ末寺眞言宗ナリ開基ノ僧ヲ仁範ト云

紀州ノ人ニテ初鎌倉雪下ニ住ス蘆名直盛ノ勸ニヨ

リ此地ニ來リ康曆元年ニ此寺ヲ建立齡傾ケトモ願

心ヤマス高野ニ詣テ臨終ヲ遂ントテ旅装ヲ催シ杖

ニ扶ケラレ盤川ニ至ル岸上ニ垂釣ノ翁有リテイッ

クニ往ト問フ範宿願ノ由ヲ語レハ即

高野山餘所ニハアラシ下荒井三站ノ松ノ法ノ

朝風

ト云和歌ヲ詠シテ其行ヲ留ム範怪テ其松何レニ在



ヤト間ハ汝カ寺ノ境内ニアリ是ヨリ汝カ寺ヲ松命  
 山蓮華部寺清淨院ト號スヘシトテ其形見エス範奇<sup>+</sup>  
 異<sup>イ</sup>ノ思ヲナシ歸テ其院中ヲ見レハ其松正シク三葉  
 ニソ三針ノ稱ニカナヘリ此松年ヲ歷テ枝葉繁茂セ  
 シカ早乙女不淨衣ヲ其枝ニカケシニヨリ乍枯失ス  
 其地ニ又自然ニ一根三莖ノ松ヲ生セシトッ其後何  
 ツノ頃ニカ水患ヲ避ケ今ノ地ニ移レリト云遺趾今蟹  
川村ノ境  
 内ニ昔ハ繁昌ノ寺院ニテ塔頭モ六坊アリ天正己丑  
 ノ兵燹ニ逢テ次第ニオトロヘ所々ニ移リ今猶此寺  
 ニ隸スル者アリ文祿中十三世宥明カ時蒲生氏郷ノ

命ヲ受飯豐山ヲ中興ス即此寺ヲ以テ別當トス慶長  
 六年氏郷ノ子秀行耶麻郡一戸村ニテ五拾石ノ地ヲ  
 寄附ス寛永五年加藤明成耶麻郡稻田村ニテ改附ス  
 蒲生秀行證文 一通其文如左  
 會津於分領御知行五十石奉寄進候全可社務者也

慶長六十月十八日

秀行華押

飯出山 別當坊

一 磔<sup>ツツ</sup>宮<sup>ノミヤ</sup>村昔磐梯山ノ方ヨリ圓石一飛來テ此地ニ隕ッ  
 明神ノ擲<sup>オチ</sup>給フ磔ナリトテ社ヲ建尊崇ス村名コレニ  
 因ルト云



一田村山村清水 村ヨリ廿間餘未申ノ方ニ有リ周廿  
 間餘慶長中上杉景勝此邊ニ鷹狩シ此水ヲ飲ミ其甘  
 冽ヲ賞ス土人因テ景勝清水ト稱ス又其北ニ産清水  
 ト云アリ周六間計ニ水合シテ廣二間計ノ川トナル  
 和泉村ノ方ニ注キ祖母川ト唱フ  
 一館村昔此地大ナル館跡ニ民居ヲ營ミシ故ナツクト  
 云

一出尻村清水 村ヨリ未申ノ方ニアリ周十間計昔時  
 蒲生氏郷夏月放鷹シテ此ニ至リ此水ヲ掬シテ其味  
 ナ賞ス因テ寛永中マテニハ四圍ニ柵木ヲマハセシ

トゾ

一和泉村昔此村ニ清水有リ甘冽ニシテ酒ヲ醸スルニ  
 宜シコレニ因リ泉村ト云後今ノ文字トス  
 一下神指極樂寺境内ニ漏泉碑アリ高五尺五寸餘享和  
 二年洪水アリテ居民ノ墓ヲ決シ鬮骸許多ヲ漂流セ  
 リ水復シテ後索メ聚テ此所ニ埋ム因テ府金ヲ出シ  
 碑ヲ立テ是ヲ表セシム篆額ニ漏泉碑ノ三字其下ニ  
 左ノ文ヲ彫レリ

下神指村去會津治城七里特瀨巨川村西北三百步  
 許有居民墳塋壬戌之秋七月朔巨川暴出陷沒其半



逮于水治而民出索其屍歛合瘞村中極樂寺以爲香  
華所其戚可知也官亦閱之賜黃金若干以給雜費而  
慰民心矣豈所謂德澤上昭天下漏泉者乎吏迺建石  
以表其德俾余銘焉其辭曰

卉木之萎向春迺榮斯民之難賴仁迺生惟斯馨德  
千載惟明鬼之斯哭亦既止聲

享和三年癸亥春三月

澤田英謹撰

一上米塚村此村至德ノ頃葦名直盛幕内村ニ住セシ時  
米倉アリシ所ユエ米塚ト名ツク中頃米丘ト書キシ  
トモアリ同稱ノ村アルユエ上下ノ字ヲ加ヘシト云

一西後菴永正ノ頃比丘尼後菴ト云者住セシトテ村ノ  
丑寅ノ方ヲ今ニ比丘尼屋敷ト云

一北後菴村此村名モ比丘尼後菴カユエニヨリ後菴村  
ト云金屋村ノ端村西後菴ノ北ニ當レルヲ以テ北ノ  
字ヲ冠ラシメシト云

一西麻生村舊ハ端村古屋敷ノ地ニ住ス後家居ヲ此ニ  
別チ舊地ヲ端村トシ古屋敷ト名ク同稱ノ村アル故  
西ノ字ヲ加フト云 ○古塚 端村出新田村南八町  
四十間餘ニアリ高一丈周三十間餘土人上人壇ト唱  
フ



一下米塚村清水 端村出新田村北四町廿間ニアリ東  
西三十八間南北六間寶曆七年洪水ノキ田圃ヲ決セ  
シ迹ト云

一下小松村常德寺境内ニ五輪二基アリ共ニ高二尺三  
寸其制近代ノモノニアラス由アル人ノ墓ト見ユレ  
ル文字ナケレハ不知又村民ノ宅中ニ一基ノ五輪ア  
リ高サ二尺餘是レモ古代ノ物ト見ユレル文字ナシ  
土人相傳ヘテ小松殿ノ墓ト云小松彈正包家カ墓ナ  
ルニヤ館迹ノ條下ト  
照シ見ルヘシ

一上荒井新田村寛永二十年肥後守正之弓足輕三十人

ヲ置キ田圃ヲ關カシメ給田トス其子孫相續テ此ニ  
居ル故ニ俗御弓新田ト稱ス

一南青木村蝦夷塚村ヨリ二町寅ノ方山麓ニアル菜圃  
ノ字ナリ昔蝦夷人此ニ住セシト云傳フサレル御山  
村蝦夷塚ハ屍ヲ埋メシ所トイエハ是モ其類ニヤ

一北青木村大窪山村東二町三十間ニ有リ高四十丈餘  
此地草木美ハシク滿山黄壤ナルヲ以テ寛文四年肥  
後守正之土民ノ葬地トス元祿四年中峯ニ標石ヲ建  
其文如左

自是南至麓大路八十三間自是北至峯頭百五間自



是東至峯頭五十三間自是西至大林百四十六間  
右大窪山葬地界限寛文四年甲辰九月晦日先君中  
將源公始教士民禁火化仍所置之者也元祿四年辛  
未六月二十八日表之

- 一 小田村中頃寶積寺村ト稱ス寛文中舊名ニ復ス
- 一 天寧村此村舊天寧寺村ト云寛文中寺ノ字ヲ省ケリ
- 一 慶山村此村舊慶山寺村ト云寛文中寺ノ字ヲ省ケリ
- 大龍寺臨濟宗寶雲山ト號ス京師妙心寺ノ末寺ナリ
- 寛永二十年肥後守正之會津ニ封セラレシ時羽州山  
形ヨリ機外ト云僧從來リシカ此頃此ニ慶山寺慶或桂

ルニ作トテ天寧寺ノ末寺有リテ無住ナリケレハ機外  
ナシテ此ニ住セシム後今ノ名ニ改ム

一 院内村昔羽黑神社ノ別當東光寺ノ院内ナリシ故名  
ツクト云今竹林院地藏屋敷大仙坊等ノ字殘レリ明  
曆三年此村ノ山ヲ開テ當家ノ墓所トセシヨリ村中  
諸役ヲ免シ墓ヲ守リ掃除ノ事ヲ勤シム○天神石村  
ヨリ辰ノ方三町湯本村ニユク路ノ傍ニ有リ此石ニ  
水ヲ注ケハ菅神ノ像顯ハルト云○四寸石村東三十  
町山中ニ有リ此石ニ四寸計ノ指ノ跡アリ空海力指  
ノ跡ナリトゾ



一湯本村此村温泉多ク湧出ル故名ツクト云北ハ山ニ  
連リ南ハ黒川流レ岩山高ク峙チ山水ノ景極テ勝レ  
タリ

一酸漿<sup>ホトスギ</sup>村昔此村ノ山中ニ燈籠草ヲ生ス故ニ名ツクト  
云

一二幣地村此村モト仁幣地ニ作ル寛文中今ノ字ニ改  
ム相傳フ昔修驗ノ徒國峯修行ノ時此村ニ二ノ幣ヲ  
建シ故ノ名ナリトゾ

一大豆田村此村舊鹽森上臺二屋上田トテ四區ニ住ス  
元祿中宇都宮街道ヲ開シ時上田ノ地ニ集リテ一村

トス○蛇石村南八町ニアリ長一丈七尺形ヲ以テ名  
ツクト云○壇村南菜圃ノ中ニ十六有リ七町計ノ間  
ニ布置ス高二尺ヨリ五尺餘ニ至ル俗ニ十六壇ト唱  
フ其來由ヲ詳ニセス

一香鹽村此村中頃加鹽ニ作ル寛文中舊ノ文字トス相  
傳フ昔山田鹽森トテ潮ノ出ル池アリシ故ニ名ツク  
ト云

一南原村此村モト原村ニ作ル本郡ニ同名アルニ因リ  
寛永七年南ノ字ヲ加フト云又田中關屋大門花河原  
トテ四區ニ住セリ元祿中宇都宮街道ヲ開シ時此ニ



移ス○狐岩村ヨリ亥ノ方二町ニ有リ高一丈五尺周  
五間○光明壇村西三町ニアリ高七尺周十二間何ノ  
頃ニカ光明坊ト云僧ヲ葬シ所ト云又村ヨリ亥ノ方  
五町計リニ一堆ノ小塚有リ土人經塚ト云役僧經文  
ヲ埋シ所ナリト云

一上兩屋村此村舊上天屋ニ作ル寛文中今ノ字トス○  
餓鬼巖村南一町餘路傍ニアリ數丈ノ巉巖ナリ碎ケ  
テ細石トナリ常ニ崩ル

一石村村中ニ石佛トテ長三尺計ノ自然石アリ因テ舊  
石佛村ト云寛永中佛ノ字ヲ省ケリ

一堤澤村藥師堂村北一町五十間ニ有リ藥師座像一尺  
四寸空海作ト云脇士日光月光十二神將ヲ安ス共ニ  
古佛ナリ弘仁三年空海此地ニ來リ五佛ノ藥師ヲ刻  
ミ會津四郡ノ中ニ安置ス是其一ナリ俗ニ野寺ノ藥  
師ト云慈光寺司也

一中野村千本木村ノ北二町餘ニ男松一株アリ俗ニ一  
本木ト稱ス土人ノ説ニ昔ハ府ヨリ鎌倉ニ通ル往還  
ニテ府城諏訪通郭門ノ邊ヨリ此ニ至ルマテ千本ノ  
並木アリ其一本ノ遺レルナリト云

一一堰村此村舊一關ニ作ル相傳フ昔ハ街道ニテ此ニ



- 關ヲスエ置シ故ノ名ナリトゾ寛文中今ノ文字トス
- 一飯寺村盜石村中ニ有リ誤テ此石ニ觸ル、モノハ貪欲ノ心起ルトテ此名アリ○狐壇村北一町餘ニアリ高一丈七尺周四十八間狐多ク住ム故ニ名ク加藤嘉明ノ葬具ヲ埋メシ所ナリト云
- 一小出村村西ノ山中ニワツカノ湧泉アリ小出ノ各此ニ始ルト云
- 一小野村小野嶽ノ半腹ヨリ少シ下ニ住ス村名コレニ因トゾ○古墓二ツ一ハ觀音堂ノ後ニアリ高四尺幅二尺自然石ニテ表ニ梵篆一ヲ鐫レリ土人相傳テ朝

- 日長者ノ墓ト云一ハ村東菜圃ノ中ニ有リ大サ前ニ同シ文字ナシ長者ノ妻ノ墓ト云傳フ今ニ小野嶽ノ頂ニ長者屋敷ノ字アリ
- 一彌五島村館跡小名和田ノ西山上ニアリ東西二町南北三町木タチ茂レリ草岡館ト云イツノ頃ニカ中丸新九郎某ト云者築ト云天正ノ頃ハ木村數馬某ト云者住セシトゾ
- 一蘆原村各主七右衛門ト云フ者古文書四通ヲ藏ム加藤家元和寛永ノ度ノ書ナリ
- 一南倉澤村鏡沼村ヨリ辰巳ノ方三里餘山奥ニ有リ東



西五十間南北二町廿間水面鏡ヲ磨クカコトシ故ニ  
名ツク

一音金村加藤谷川村北八町ニアリ源ハ三倉山ヨリ出  
テ西ニ流ル、コト二里計落合村ノ界ニ入ル

一鹽生村館迹村ヨリ未ノ方三町ニアリ東西四十間南  
北一町十一間土居ノ形存ス何ノ頃ニカ平田五郎忠  
照ト云者住スト云今猶館澤ト云字殘レリ

一中妻村本九九布村此兩村ハ田圃相雜ハリテ地界分  
チ難シ○大堰山ノ中腹ヲ鑿テ水ヲ通シ田地ニ漑キ  
水門村ノ方ニ注ク延寶三年家士飯田兵左衛門重成

ト云者ノ此土ニ奉行タルトキ築キ水田關テ民其德  
ヲ蒙レリ即水上ニ石ヲ建重成カ法名ヲ彫ル今ニ堰  
神ト稱シテ崇敬ス○館迹二一ハ中井ノ北六町ニア  
リ東西五十間南北十八間四方ニ堀ノ跡有リ何ノ頃  
ニカ中妻源太照元ト云者住セシト云古キ瓦ヲ堀出  
スコト有リ一ハ本九九布村ヨリ南ノ方山上ニ有リ  
登ルコト一町二十間昔此郷ノ地頭日向五郎明光ト  
云モノ住ストテ土人今猶館越ト稱ス

一上添村小山村倉村岩本村此四箇村ハ山川田圃相雜  
テ界域ヲ分タズ上添舊上相ニ作ル寛文中今ノ文字



トス

一倉谷村此村モト串谷村ト云治承中高倉宮通り給ヒ  
シヨリ倉谷ト改ムト云

一田島村○清水嶋山ノ半腹ニ有リ一間四方最清冽ナ  
リ

○愛宕神社嶋山ノ頂上ニアリユ、ニ登レハ眼界廣  
ク數多ノ村落一望ノ中ニアリ

一永田村舊長田村ニ作ル後今ノ名ニ改ム

一高野村館迹村西山麓ニアリ東西二十間南北四十五  
間築地ノ高一丈門ノ礎ヲホ存ス大竹肥前某ト云モ

ノ住セシ所ナリ肥前ハ田島ノ城主長沼氏譜代ノ臣  
ニテ天正ノ頃盛秀ニ從テ屢戦功アリシト云

一大豆渡村大岩山村西五町餘ニ有リ頂マテ五町許巉  
巖峙チ檜澤川其麓ヲ流ル天正中田島ノ城主長沼盛  
秀伊南ノ河原田盛次ト戦シ時盛次カ支族河原田大  
膳某ト云モノ此ニ據テ敵ヲ防キ遂ニ戦死セシトゾ  
因テ此山ヲ岩館トモ云今黒澤新田村ノ境内ニ大膳  
及從卒ノ墓ナリトテ古墳ニアリ

一岩下村逆岩高八丈周四十二丈餘相傳テ森戸村ノ西  
ノ立岩涌出セシトキ神アリテ是ヲ蹴折リ此所ニ倒



置セリ故ニ此名アリト云村名ノ起ル所又コレニヨ  
ルトソ

一介木生村モト助牛ニ作ル寛文中今ノ字ニ改ム

一小高林村橋ノ傍ニ數丈ノ巉巖アリ中ニ一ノ怪岩特  
立シ朝夕ノ陰晴ニ神ノ形ヲ見ルコトアリトテ土人

崩岩權現ト稱シ崇敬スルコトオホカタナラス

一巽斗村郷頭星谷右衛門古文書二通藏ム

一吉高村修驗大法院古文書一通藏ム

一古町村修驗圓城院古文書五通藏ム

一長濱村清吉古文書一通藏ム○館跡三十間四方西館

ト云一ハ三十六間四方東館ト云共ニ村西二町計ニ

アリ土居堀ノ形存ス河原田盛次住ス

一白澤村柳林村西檜枝岐川ノ岸ニアリ長四町餘水害

ノ防ニ植ト云

一木伏村館迹村中ニアリ東西廿三間南北三十三間土

居堀ノ形存ス天正中菊地紀伊守某ト云者住スト云

一大新田村天狗岩村北六町四十間ニアリ高六丈計横

三十丈餘ノ巖マヘニサシ覆ヘテ形奇ナリ下ニ天狗

堂アリ

一宮澤村一宮神社村北二町ニアリ勸請ノ初ヲ傳ヘサ



レトモ村名ノ起ル所ナレハキハメテ古代ノ鎮座ナルベシ

一濱野村壇村北一町餘ニアリ慶長ノ頃三寶院ト云大峰ノ行者山城國醍醐ヨリ來テ此村ノ境内鈴木屋敷ト云所ニ居リシカ遷化ノ後此所ニ葬ルト云土人火除ノ靈アリトテ參詣スルモノ多シ上ニ高三尺餘ノ石塔アリ

一朴木村鬼渡神社ノ前ニ檫古木アリ圍四丈餘土人傳テ鎧掛木ト稱スイカナル故ト云コトヲ知ラス

一和泉田村此村モト泉田ニ作ル寛文中今ノ字ニ改ム

一界村此村モト境ニ作ル寛文中今ノ字ニ改ム伊南郷

ト伊北郷ノ界ナル故名ツクト云

一下山村小名下村ニ經塚アリ高五尺周八間天和二年水災ヲ患テ觀音寺ノ僧鏡鑊ヲシテ一石一字ノ經文ヲ書寫シ埋ムト云

一黒谷村水晶山村南三里ニアリ石英ヲ産ス○鱒楚割秋ニ至テ黒谷川ニ産スルヲ捕リ割リコレヲ製ス味佳ナリ

一橋戸村朝日山村南六里ニアリ○清水村ヨリ未申ノ方二十間ニアリ周十二間スヲノ清水ト云



一只見村大沼村北五町ニアリ周二町四十間○館跡村西六町ニアリ東西一町四十間南北一町十間水久保城ト云天正中山内氏勝エ、ニ據テ伊達勢ヲ防シト云

一蒲生村銅山村西一里十二町ニアリ

一附記八十里踰道路開修越後國下田郷通路也明治十二年出願發起人叶津村戸長長谷部保三郎界村同馬場勇一郎宮床村同馬場清一郎本縣土木課長清宮二等屬見分同十三年五月指令七月起工十月落成矣此工費國庫ヨリ金一千圓出ル一郡聯合費ヨリ金五百

圓其他叶津村ヨリ山口村迄三十五ヶ村出夫ヲ以テス惣費金凡三千圓ニ及フト云多ク路線ヲ替岩石ヲ斫其功偉矣

一附記中山峠道路開修立岩郷ヨリ瀧原村ヲ經テ下野通路也發起人鹽原村戸長芳賀彦七古町村同酒井幸七山口村同小沼芳太郎和泉田村同大束柳八只見村同長谷部保三郎明治十九年四月南會津郡長岩永一路本縣土木課大江保見分同年七月着手同二十年十月ニ至リ其功ヲ奏ス此工費凡金二万圓餘ニ至ル只見村外五十五ヶ村ニテ負擔セリト云中山嶺ハ凡三



里半餘ノ峻山也開鑿ノ功勞堪感矣  
 會津郡二莊十郷ノ内門田莊黒川郷ハ若松ヲ始近邊  
 ノ村村ヲ云也其中ニモ東十二ヶ村西十二ヶ村ト唱  
 フルモノハ若松ニ接續平坦沃土ニシテ養蠶神社ハ  
 式内也八角社ハ人皇五代草創早ク關ケタルハ無論  
 也原村ハ東方ニアリテ百戸ニ餘ル然リ而シテ御藏  
 入公儀領地南山長井莊ニ隸シ湯原九九布楯原田島針  
 生關本立岩七郷ニ亘ル其七ヶ村舊キハ推知ヘシ田  
 島ヨリ西三里弱黒澤又南一里餘リ川島ニ至ル川ニ  
 沿水田アリテ平地多シ戸數百戸ニ近キ村々ハ長野

永田糸澤也立岩郷ハ瀧原ヨリ三里半餘中山峻嶺ヲ  
 越高地ニ位シ二十四ヶ村ノ内僅ニ水田アルハ六七  
 ケ村他ハ畠及焼畑ヲ耕シテ漸ク口ヲ糊ス伊南伊北  
 ノ兩郷タル界村ヲ以テ南北ヲ別テルモノニシテ村  
 々ノ新古ハ不可知戸數百戸前後ノ村々ハ古町和泉  
 田只見也而シテ伊南大桃村ヨリ伊北只見村ニ抵ル凡  
 十三四里伊南川ニ沿テ平地連接田圃關ケタリ檜枝  
 岐ハ三里半弱隔絶駒嶽ノ南山腰ニ位シ水田更ニ無  
 ク山中曆日ヲ不知壺中別天ノ僻村タリ立岩郷ヨリ  
 伊南伊北ノ地ハ往古ヨリ戰敗落人ノ遁逃潛匿スル



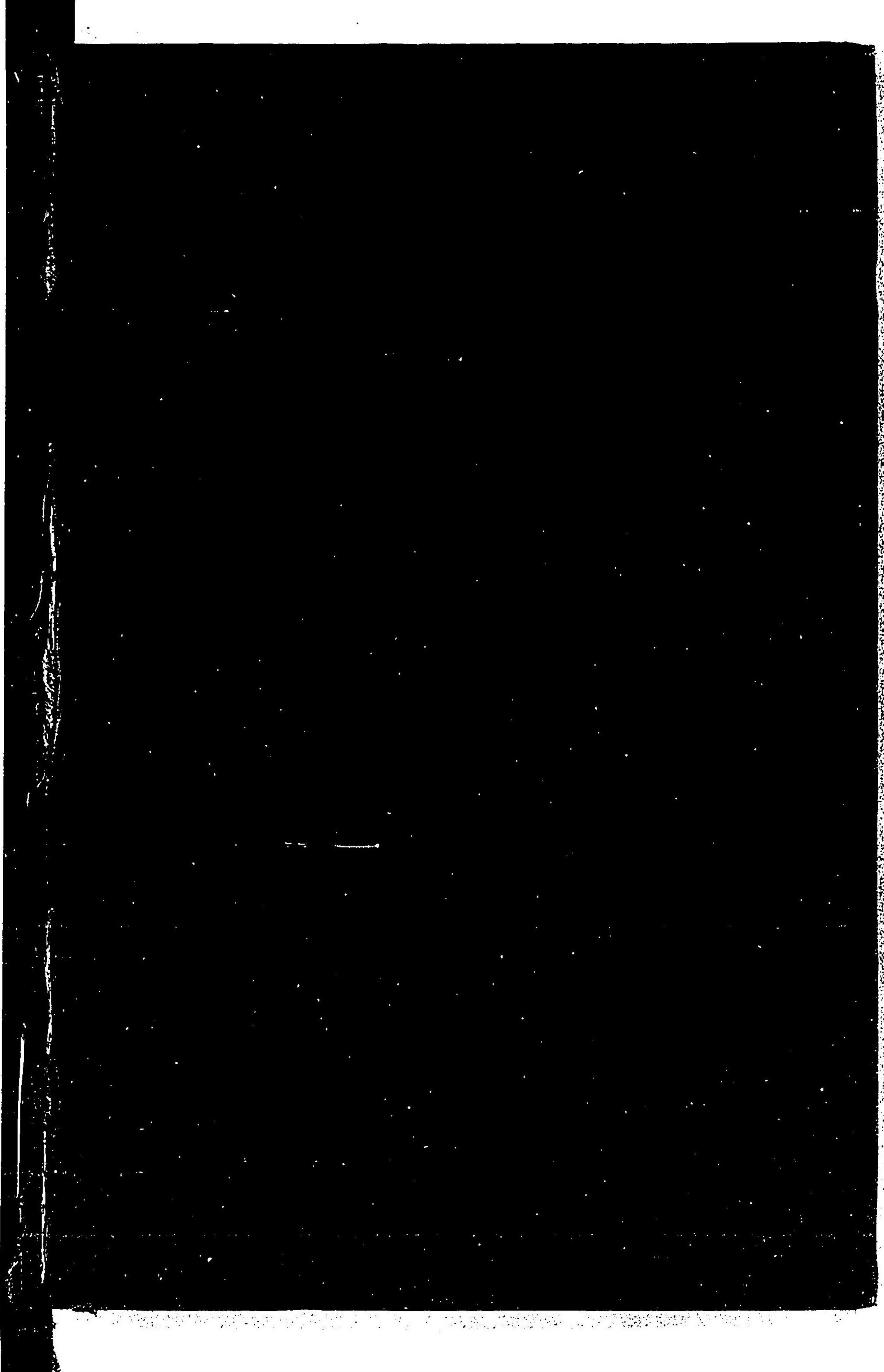
ノ隱里也南山一莊九郷ハ概シテ僻遠ノ地ナリ若松  
町及原瀧澤東西黒川高久青木六組一町ハ私領小出  
彌五島橋原松川田島高野川島熨斗戸古町和泉田黒  
谷十一組ハ公義領總計一町十七組ニ區別シテ明治  
度ニ至リシナリ

會津温故拾要鈔二終



33
4
206







33  
206

023297-001-2

33-206

会津温故拾要抄

宫城 三平/著

M22

ADC-0171





